

昭和43年
11月15日
発行
No. 106

発行 東 栄 町 役 場
編集 企 画 室
愛知県北設楽郡東栄町大字本郷
字上前畑25 TEL.東栄0450149
印刷 株式会社水鳥印刷所

報 告

じうえい

11月の納税

保 険 料 11月分
保 育 料
国民年金保険料
◇納 期 11月29日
◇納税はあなたの理解と
誠意から

月小の講堂「落成」

保健教育に大きな役割

給食室も改造、最新設備整う

町立月小学校（校長・伊藤章夫氏）の講堂新築工事が、このほどついに完成しました。十一月五日には、落成した講堂に関係者多数が出席して、しゅん工の式典が盛大に行なわれました。校區のみなさんの教育に対するご理解とご協力を背景に、この春の御園小学校舎新築につづくこのたびの月小講堂完成と、相次ぐ計画の実現で東栄町の教育行政も着々と進展を遂げています。

しゅん工式 盛大に完成祝う

全山が紅葉であざやかに色どられた御殿山のふもとに平和な月部落がひろげ、そのほぼ中心地に清流をたたる御殿川のほとりに月小学校があります。この学校に、このほどついに講堂が完成しました。

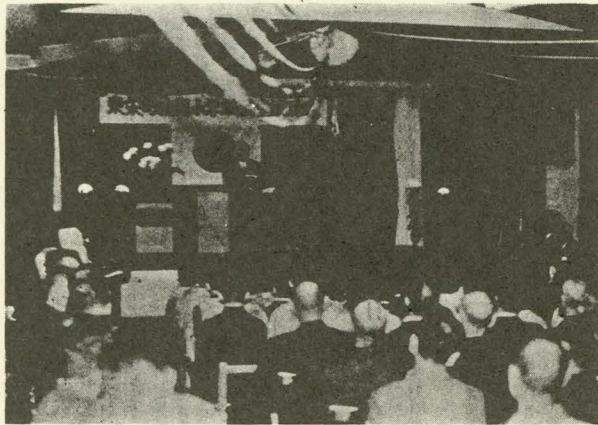
内外から招かれた多数の来賓、それに校區のみなさん、先生を含めた全校児童などおよそ百五十名が参列。暗幕で包まれた式場内は、天井に五色のテープが飾られ、ステージには季節を代表する菊の大輪がライトにあざやかに映えて色どりをそえ、一段とすがすがしさを盛り立てていきました。小しんまりとまとまり、清らかな中に近代的なセンスにあふれるみごとな設計。それに

りつばな備品も整って、月小が他校に誇りうるこの施設が、ここに参列した多くの人たちにひろうされたのです。

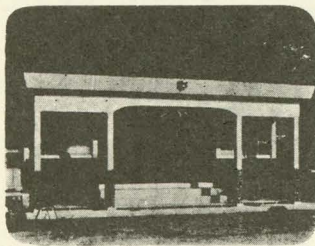
式典は、まず、ステージの最前に準備された紅白のテープに町長を代理する伊藤助役の手ではさみが入られ、この開講の儀式で文字どおり幕があげられました。

実を結んだ区民の熱意

ここにもめでたく落成した講堂は、木造平屋建て延べ一三八・六平方メートル、この夏の八月二十六日に着工し、工期わずか一カ月あまりという短期間で九月末に完工したものです。また、同校では、この講堂建設に先がけて給食室の改造も行ない、児童の健康を保障する最新式のりつばな設備を整われましたが、これらとの備品・設備費などすべてあわせると総事業費は三百四十七万円となっています。



盛大なしゅん工式典



新築なった月小講堂（正面）

続いて、町長の式辞、工事経過報告、感謝状贈呈など次式第に従ってすすめられたあと、同校児童会々長の筒井智之君が全校児童を代表して「待ちに待ったばかりの講堂ができて上がり夢のようです。みなさんにご恩返しができるようしっかりと勉強して、この講堂のようにりつばな人になりたい。ほんとうにありがとうございます」と、力強くお礼のこと



開講のテープを切る伊藤助役
お礼のことばを述べる筒井君

ばがありました。また、伊藤校長からも心をこめた謝辞の中で「みなさんのあたたかいご支援で生まれたこの施設をフルに活用して、教育の究極に向けて全校一丸となつて努力します」と抱負が述べられました。



の種となっていました。

こうした実情から、校區のみなさんの協力という熱意と理解、そして教育に対する熱意と励みを得るなど、この学校を取りまく多くの人たちの努力がかりつばに実を結び、このたびの新築となつたのです。

明治初年の開校以来実に九十余年、月地区の教育の場として今も変わることなく義務教育の灯がともし続けられている月小学校にとって、世紀を画するこの記念事業の実現が、新たな進展を約束づけたわけで、同校のみならず町教育行政面においても、まことに喜ばしいことであると、

町営 入居者を募集

あけぼの団地など十五戸

あけぼの団地の住宅（本郷地区内、旧愛知用水公社宅）を、今後町営住宅として運営することになりましたので、次のとおり入居者を募集します。あわせ、既設の町営住宅不在分の入居申し込みも受け付けています

ので、ご希望者は、役場住民課まで申し込みください。
○入居募集戸数・家賃
あけぼの団地 十戸 家賃未定
大森団地 一戸 月千五百円
小野団地 二戸 二千二百円

郷土の『花祭り』開催の日どり

無形文化財として全国的に紹介されている郷土の『花祭り』が、この日は次の日程で開催される予定です。

○各地区の開催日程
十一月三十日・十二月一日
十一月二日 足込・東園
一月三・四日 中在家・栗代
一月四・五日 小井
一月五・六日 布川

先林地区に完成

環境衛生整備と町内美化の目的、それに地区民の強い要望によって、町では先林地区にゴミ焼却炉（一基）の建設をすすめていきましたが、このほど完成しました。この焼却炉設置にあつては、地元のみなさんの労務率と総額約二十万円（うち町費十九万円）を費してでき上がったものです。

これは市場地区につづいて二基目のゴミ焼却炉ですが、町では、地区の要望に応じ必要地域へ逐次設置していく計画です。

記念林取得を議決

町議会臨時会開く

予算補正も審議 (一般会計)

経団二万八千七百九十六平方メートルを、明治百年記念事業の一つとして、代金一千三百七十七万円を、譲渡により取得することに議決されました。

議案第五十一号
昭和四十三年度東栄町一般会計予算補正について

一般会計の第二次補正で、歳入・歳出とも一千五百万円が追加され、予算総額は、二億七千九百九十九万五千円となり、歳出目別の補正額は、次のとおりです。

歳入▽町税四千六百七十六万三千円▽自動車取得税交付金六百万円▽地方交付税八千九百九十九円▽繰入金一千五百万円
歳出▽総務費四千二百五十七万一千円▽諸支出金一千四百五十五万円

解説

東栄町議会臨時会が、十月三十一日午前十時より、役場会議室で開かれ、提出された二議案について、慎重に審議の結果、それぞれ原案のとおり議決されました。

概要は次のとおりです。

議案第五十一号
財産取得について

東栄町大字奈根字加久保地内の山林(抵当権者・東海銀行)

「その日のうちに……」という原則的対策にこだわらぬあまり「眠ろう眠ろう」とあせるのかえって不眠をまねくだけで、何の効果もありません。まして、眠り薬にたよるなどはもってのほかです。

眠り薬の作用は、いわば「麻酔」と同じで、自然の睡眠とは似ても似つかぬものであり、疲労の回復には、あまり効果がありません。

安らかな眠りにはいるためには、いろいろな内的外的刺激を大脳に伝えないようにすることです。

みんなの保健

疲労回復は睡眠から

(7)

実りの秋、収穫の候を迎え、農家では忙しい毎日の明け暮れですが、その日の疲れを翌日に持ち越すようなことはありませんか。

「食いだめはできるが、寝だめはできない」と、よくいわれます。たしかに、あらかじめたっぷり眠っておいて、それで二日も三日も眠らずに仕事をしようなどとはできません。

疲労回復には、眠りこそ最良の薬であり、しかも、その日の疲れは、その日の睡眠で回復させることが、疲労回復の原則です。



4箇分団合同の入魂式

消防ポンプなど増強

青年の家で合同入魂式

町税で木材引取税などが、大幅増収が見込まれることで、一般事業開発促進に影響はないことと、この山林には、二十五年以上の杉・松が約一万四千八百本と三年生の杉・松が約一万二千本植えられており、今後の町財政を潤すことが、まちがけないことなどから、全議員異議なく町有財産として取得することとなり、その名称も「明治百年記念林」として、これを明記した記念碑建立も協議されました。

保健教育の成果を発表

下川小で研究発表会

さわやかな秋晴れの十一月五日、奥三河青年の家運動場で、東栄町消防団の小型動力ポンプとポンプ積載車の入魂式が行なわれました。

この日入魂式を実施したのは、第二・第三・第六分団の小型動力ポンプ三台と、第二・第五分団のポンプ積載車二台で、ポンプとその積載車合同の入魂式は今回がはじめてです。

式は午後二時より、助役をはじめ多数の来賓と、消防団からは団長・本部・分団長・分団員など約百名が出席し、厳粛に行なわれ、この日からポンプと積載車が町から分団に正式に渡されたわけですから、

両医師に大臣表彰

近藤武勇 町も知事表彰受ける

国民健康保険法が、昭和十三年七月に施行されてから、ことしは、ちょうど三十周年にあたり、これを記念して「国民健康法施行三十周年記念式典」が、去る十月二十四日、東京日比谷公会堂で開かれ、その席上、国民健康法の推進に努力し、功績のあった人々が、数多く厚生大臣と国民健康保険中央会長から、表彰されました。

当町からは、次のかたが栄誉ある表彰を受けました。

また、十一月五日には、愛知県との式典が、県中小企業センターで開催され、次のとおり、知事と県国民健康保険団体連合会理事長より、感謝状が贈呈されました。

東栄町 国民健康保険事業を十五年以上継続経営の優秀保険者
近藤武勇 施設活動の従事者
岡田門美 歯科医
東栄病院 院長
東栄町 役職員 現町収入役
関本 正・白川一市 永年勤続国民健康協 議委員会 医師

秋の火災予防運動

11月26日～12月2日

火の元には十分ご注意ください

これから火災の多発期を迎えるにあたって、国民ひとりひとりの防火意識を向上させて、火災予防の体制を強化しよう、と、

「秋の火災予防運動」が十一月二十六日から十二月二日まで、全国いっせいに展開されます。

火災は、ちょっとした注意で

秋の火災予防運動

11月26日～12月2日

火の元には十分ご注意ください

これら火災の多発期を迎えるにあたって、国民ひとりひとりの防火意識を向上させて、火災予防の体制を強化しよう、と、

「秋の火災予防運動」が十一月二十六日から十二月二日まで、全国いっせいに展開されます。

火災は、ちょっとした注意で

秋の火災予防運動

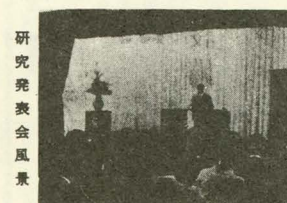
11月26日～12月2日

火の元には十分ご注意ください

これら火災の多発期を迎えるにあたって、国民ひとりひとりの防火意識を向上させて、火災予防の体制を強化しよう、と、

「秋の火災予防運動」が十一月二十六日から十二月二日まで、全国いっせいに展開されます。

火災は、ちょっとした注意で

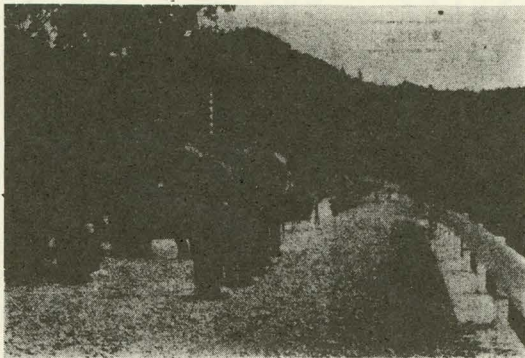


研究発表会風景

道路の開発整備進む

御園地内で二路線が完工

昭和三十九年度以来、継続事業として実施してきた小田地農道補修工事の農道・平沢線と、県道・御園浦川停車場線の改良工事が完工し、去る十月十五日に現地でしゅん工式が行なわれ、県道・御園浦川停車場線と、さらにはこの路線から分岐して平沢部落に通ずる農道・平沢線の二路線です。



しゅん工式風景

右側奥が完工の県道

東栄線の分岐点から延長六百メートルにわたり幅員四メートルに拡張改良が行なわれ、また農道平沢線は部分的な補修工事として、それぞれ三十九年度から四十一年度にかけて継続事業で実施されてきたものです。この間の総事業費は九百七十九千円、このうち、県道の改良には七百八十万円が投入されました。特に県道では、この大規模な改修で大型自動車の導入も容易

になり、久保部落を中心とした地域の産業開発に寄与する面も

交通安全への願い

防衛的運転法 (その四)

(15)

③ 他車の側方を通過するとき、他車が急に進路を変更してきてもよいように、じゅうぶんな間隔を保って進行する。とくに、運転不熟と思われる運転者や自車の側方を通過するとき、はこれらが、いきなり進路を変更してもよいように、普通の倍以上の間隔をとって進行する。

④ 大型貨物自動車やバスの直

は、視線の死角があり、危険で

あるので、できるだけ助手に誘導させること。

⑥ 路端に駐車車両の前後灯や尾灯が点灯していたり、前輪が道路方向に向けられ、排気ガスが出ていないときは、いつ発進するか分からないので、間隔を十分とって、注意して進行する。

⑦ 駐車車両に運転者がいるときは、右のドアが少し開いているときは、いつ人が出てくるかわからないので、減速し、十分に間隔をとって進行する。

⑧ 停車するとき、他車から接触されないように、混雑した場所を避け、また、前車が後退

推薦に伊藤彦一氏ら

花いっぱい運動 入賞者決まる

新生活運動の一環として、全国的に行なわれている花いっぱい運動の審査会が、ことし十一月月上旬に実施されました。

年間を通じ、いろいろな花を栽培し、社会を美しく、情豊かな生活を築くことを目指し、家庭・学校その他の集団を対等に、特に今年、菊花を中心として審査されました。

この運動も、続けられているうちに、どの家庭・学校も、美しい花でいっぱい、いずれも甲・乙つけがたくなり、審査員は、うれしい悲鳴をあげながら、熱心に町内を巡回

した結果、本年の入賞者は、次のとおり決定しました。

なお、はじめての試みとして、過去数回連続して上位入賞した結果、本年の入賞者は、次のとおり決定しました。

▽特選 伊藤 彦一 青山 善太郎

▽特選 清川 栄造 伊藤 保市

▽準特選 三井 育太郎

▽入選 佐々木 信夫 青山 千秋

森下 里子 河野 春松

▽入選

▽特選 伊藤 彦一 青山 善太郎

▽特選 清川 栄造 伊藤 保市

▽準特選 三井 育太郎

▽入選 佐々木 信夫 青山 千秋

森下 里子 河野 春松

▽入選

かっこいいなあ!

六名でピアノを贈る

明治百年の記念すべき日、十月二十三日、町立本郷保育園に、すばらしい贈り物が、届けられました。

これは、本郷保育園の運営委員会役員と母の会委員の有志六名のかたが、永く使用できる保育に欠かれないものを、新製ピアノ(八十八鍵)一台を寄贈されたものです。

同保育園には、現在四台のオルガンがありますが、ピアノは開園以来はじめてで、園児たちは、贈り物が届くと同時に、ピカピカ光るピアノをかこみ、喜

成果あつた「趣旨徹底」

街頭パレードなどで

交通安全の街頭パレードなど、秋の交通安全運動が、ことし十月十一日から二十日まで、五百万県民手をつないで交通安全事故をなくそう「をスローガンに県下いっせいに実施されました。

この運動は、全県民が、その総力をあけて、それぞれの立場から交通安全に参加し、交通安全意識を高めることを目的として展開された運動です。

東栄町でもこの運動の趣旨に



交通安全街頭パレード

青年団コーナー

第一回 「第一回青年文化祭」

一主催 東栄町青年団

一日時 十一月二十四日

午前十時より

一会場 奥三河青年の家 東栄庄

一主行事

○作品の展示 手芸品・民芸品・絵画・写真 (即売品多数・ご協力をお願いします)

○バンド演奏

○演劇 演題「休みの日」、「崖淵の家」

(農山村の悩みを訴える問題作)

○パズル

ご近所のかたがたお誘い合せて、お気軽にお出かけくださるようお願いいたします。

11月23日 勤労感謝の日

お互いの勤労に感謝しましょう。

- 笹谷 吉二 岡田 松三郎
- 宮原 満春 村上 惣太郎
- 伊藤 梁市 原田 政久
- 藤原 次三郎 牧瀬 秀雄
- 伊藤 平一 明 治 会
- 足込 中央・下川・月小学校
- ▽佳作
- 杉野 謙 荒河 民二
- 原田 右一 原田 福弥
- 伊藤 喜六 大森栽培園
- ▽選奨家庭
- 伊藤 平一 明 治 会
- 鈴木 久次 村松 義男
- 鈴木 久次 原田 嘉美
- 鈴木 正

広報欄



郵便番号

早く確実に送達をと、さる七月一日スタートしました郵便番号は、皆さんのご協力を得て現在全国的に順調なすべりだしをみせています。

号をご記入ください。年末・年始は、贈答用小包、一般の郵便物（ハガキ・封書など）も大幅に出回り、郵便局の最も忙しい時期に入りますので郵便番号の有無が、郵便物の処理上、非常な助けとなりますので、ごめんどうでも、忘れず記入してください。

布し、あて先の番号を知ることが、できるようなっています。が、差し出す郵便物に自分の住所（受付配達局）の郵便番号も記入して、相手方に知らせることもぜひ実行していただきたいことです。

お取り次ぎして下さるから、郵便局へお申し出ください。⑤ 東栄町の中には、同一行政区内に三つの配達受け持ち局があり、郵便番号の記入が、特に効果的です。

凍害を受けやすい林地の恒久策としては、耐寒性品種を見だし育成することですが、当面は、屋根すじを防風林として伐りから行なう、上木を伐りのごす、耐寒性の強い樹種との混種などがあげられます。

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 天 ひとたたと寄せる波は懐い被冷たき水に手を浸しみる

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 地 雨にぬれし舗道にうつる灯のうるみていた人恋ひし夜

郵便局だより

忘れず記入を 一年始、特に年賀状の取り扱い時期も目前にせまり、郵便局の最繁忙期に入り

いよいよ年末・年始、特に年賀状の取り扱い時期も目前にせまり、郵便局の最繁忙期に入り

凍害にかからぬように 春になり、植えてから五年くらの植栽木が、黄色または褐色

森林組合だより 腹・風あたりの強い平地や、積雪の少ない北向き斜面や、雑木林の伐跡地の植林地に発生し

NHK第15回 青年の主張コンクールのお知らせ NHKでは、第十五回青年の主張コンクールを開きます。

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 地 遠山のひだに静もる夕霧のしきりにうく雨上りつ

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 人 亡き親父よくお茶をのむと思いが我も今その親父となれ

自賠責に加入していませんか?

六十秒間に一件。この数字が何を表しているかわかりませんか。

十月末日までの交通事故発生件数は、人身・物損をあわせて一千件におよび、当町内で発生した二・三の事故については、まだ記憶に新しいところです。

凍害にかからぬように 樹木は、徐々に低温にしたりすると、零度以下のかんりの寒さに耐えることができません。

森林組合だより 樹木は、徐々に低温にしたりすると、零度以下のかんりの寒さに耐えることができません。

NHK第15回 青年の主張コンクールのお知らせ NHKでは、第十五回青年の主張コンクールを開きます。

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 天 ひとたたと寄せる波は懐い被冷たき水に手を浸しみる

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 地 雨にぬれし舗道にうつる灯のうるみていた人恋ひし夜

戸籍の窓口

十月受付分 近藤 雅紀 住居 伊藤 明義 本郷 伊藤 明義 本郷 伊藤 明義 本郷

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 天 ひとたたと寄せる波は懐い被冷たき水に手を浸しみる

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 地 雨にぬれし舗道にうつる灯のうるみていた人恋ひし夜

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 人 亡き親父よくお茶をのむと思いが我も今その親父となれ

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 天 ひとたたと寄せる波は懐い被冷たき水に手を浸しみる

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 地 雨にぬれし舗道にうつる灯のうるみていた人恋ひし夜

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 人 亡き親父よくお茶をのむと思いが我も今その親父となれ

北設楽郡でもやはり増加の傾向にあり、本年一月一日から

凍害にかからぬように 樹木は、徐々に低温にしたりすると、零度以下のかんりの寒さに耐えることができません。

森林組合だより 樹木は、徐々に低温にしたりすると、零度以下のかんりの寒さに耐えることができません。

NHK第15回 青年の主張コンクールのお知らせ NHKでは、第十五回青年の主張コンクールを開きます。

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 天 ひとたたと寄せる波は懐い被冷たき水に手を浸しみる

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 地 雨にぬれし舗道にうつる灯のうるみていた人恋ひし夜

ふるさと歌壇 (宮下茂憲) 人 亡き親父よくお茶をのむと思いが我も今その親父となれ

11月30日は 申告所得税の納期です。(当日は土曜日ですお早めに...) 振替納税利用者は、預金準備をお忘れなく 新城税務所